

「世界と向き合い 未来の創り手として 輝き続ける人」を目指して

スタディ・ホーム

～「令和4年度全国学力・学習状況調査」の結果より～

「令和4年度全国学力・学習状況調査」（令和4年4月19日実施）のさいたま市の結果について、お知らせします。
御家庭等において、子どもたちの日々の生活や学習の状況を振り返り、よりよい生活や学習の習慣について話し合う際に、本リーフレットをお役立てください。

児童生徒・保護者向けリーフレット（中学校版）



全国の
調査結果

国立教育政策研究所

検索



さいたま市
の調査結果

さいたま市立教育研究所

検索

「全国学力・学習状況調査」の調査問題や公表結果を活用し、
これまでの「学習」や「生活習慣」を振り返ってみましょう。



調査問題は、これまでに学習した内容のうち、十分に身に付けてほしい内容から出題されています。



どのような学力が必要でどのような学習が必要なのかな？

生活習慣と学力との間には何か関係はあるのかな？



今、必要とされている学力や学習、望ましい生活習慣については、調査問題に取り組んだり、生活習慣と学力の関係を考えたりすると理解することができます。



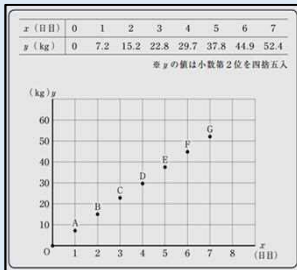
裏面へ

キーワードは「日常の生活や場面での問題発見・解決能力」と「学習・生活習慣の見直し」

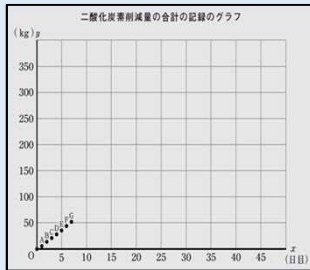
調査問題に取り組んでみて、これからどんな勉強をしていけばいいか考えてみよう。

生活習慣と学力を考えてみて、どのようなことに気を付けてすごしていけばいいのだろう。

家庭でできる二酸化炭素削減の取り組みについて考えます。1日ごとの学級30人分の削減量をもとに、二酸化炭素削減量の学級30人分の合計を記録することにしました。このとき、7日目までの取り組みの結果から（左下のグラフ）目標の300kg削減を達成できるのがおよそ何日目になるかを予測することにしました。そこで、右下の二酸化炭素削減量の合計の記録のグラフにおいて、原点Oから点Gまでの点が一直線上にあるとし、二酸化炭素の合計が一定の割合で増加すると仮定して考えることにしました。このとき、目標を達成できるのがおよそ何日目になるかを求める方法を説明しなさい。ただし、実際に何日目になるかを求める必要はありません。

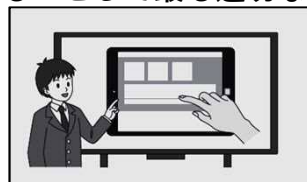


このとき、7日目までの取り組みの結果から（左下のグラフ）目標の300kg削減を達成できるのがおよそ何日目になるかを求める方法を説明しなさい。ただし、実際に何日目になるかを求める必要はありません。



タブレット型端末のタッチパネルについて、理科の授業で科学的に探究しました。日常生活の動作の中で、物体が静電気を帯びるものとして最も適切なものを、下のアからエの中から1つ選びなさい。

- ア 手で地面に触れる。
- イ プラスチック製のものさしを布でこする。
- ウ カギ穴にカギをさす。
- エ 金属製のドアノブに触れる。



理科



我が家のルール

ネット・スマホの使い方についてルールはありますか。

参考：内閣府「保護者が正しく知っておきたい4つの大切なポイント」



上記、数学の調査問題は正答率が大変低かった問題です。また、理科の調査問題は、さいたま市の生徒の正答率が伸びなかった問題です。共通項は「学習内容を日常の生活や場面に対応させながら、理解したり生かしたりすることができるか」です。問題に取り組む際には、日常の生活や場面を思い出し、知っていることを生かしながら考えることが大切です。また、与えられた情報を適切に読み取れる力も今後、必要とされます。

家庭での「学習・生活習慣」を見つめ直しませんか
読書が好きであったり、休日の学習に多く取り組む生徒ほど、調査問題の正答率が高い傾向がありました。また、普段のテレビゲームをする時間も正答率と関係があることが分かりました。

「学習」や「生活習慣」をよりよくするヒントを考えることはできましたか？

※このページの掲載内容は、掲載時のものです。掲載後の変更は、掲載時のものとさせていただきます。